



# データ活用で通学利用促進を図る東近江市の取組

— 家族送迎から公共交通で通学できるまちを目指して —



発表者 東近江市都市整備部公共交通政策課 加藤 洋大、今濱春紀  
一般社団法人近江鉄道線管理機構 福岡周真

## 1. 東近江市の概要



【概況（2023.1.1現在）】

平成17年及び平成18年の2度の合併を経て誕生（1市6町が合併）

- ・面積 388.37km<sup>2</sup> ※県内で5番目の面積規模
- ・人口 112,173人 ※県内で4番目の人口規模
- ・世帯 46,940世帯

### 東近江市にある公共交通機関

公共交通機関	路線数	備考
J R	1路線1駅	東海道本線（琵琶湖線）
近江鉄道	2路線13駅	本線、八日市線
路線バス	4路線	近江鉄道が運行
ちよこつとバス（コミュニティバス）	10路線	近江鉄道、永源寺タクシーの2事業者に委託
ちよこつとタクシー（デマンド型タクシー）	6路線4エリア	3事業者に委託
タクシー	8事業者	
スクールバス	4路線	

## 2. 新型コロナ前後での本市公共交通の状況

### 新型コロナ前

#### 1 近江鉄道線の存廃問題

近江鉄道線全駅の1/3は東近江市にあり、近江鉄道線が廃線となった場合、本市のまちづくりに大きな影響を与える。

#### 2 路線バスの収支率悪化

コロナ禍以前より人件費等の影響により徐々に収支率が悪化

#### 3 利用しにくいコミュニティ交通

（ちよこつとバス、ちよこつとタクシー）

**定時定路線型 通学利用しにくい路線が存在**

**路線情報は市HPのPDFデータで確認…**

**エリア運行 エリア間での利用方法が分かりにくく利用数少**

### 新型コロナ後（現状）

令和2年度 全線続行が決定

令和6年度 公有民営方式の「上下分離」に移行

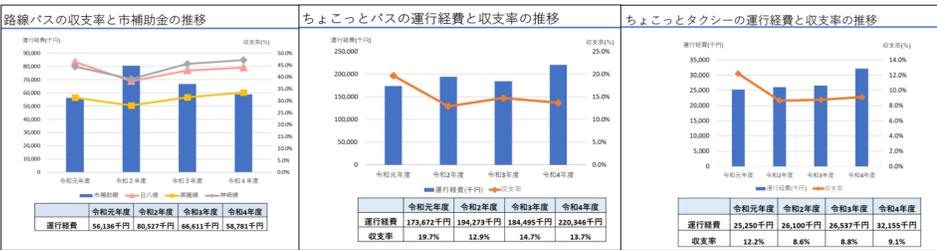
新型コロナの影響により収支率が悪化  
燃料高騰等が収支率改善の重しに…

令和4年度 ダイヤ改正を実施

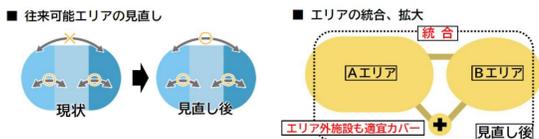
- ・通学時間帯での増便
- ・エリア運行見直しetc

バスロケ導入

参考 路線バス・コミュニティ交通（ちよこつとバス・ちよこつとタクシー）に係る収支状況



参考 令和4年度コミュニティ交通における運行見直し例



参考 令和4年度にコミュニティ交通（ちよこつとバス）にバスロケを導入



## 5. 公有地を活用したパーク＆ライドの実施

令和3年度～

市内在住者がJ R近江八幡駅周辺で駐車場を借りて通勤・通学している実態に着目し、近江鉄道市辺駅徒歩5分にある公有地（市営あかね駐車場）を活用したパーク＆ライドを開始



年度	契約者数
令和3年度	4人
令和4年度	10人
令和5年度	13人

- 【凡例】
- ★ = J R近江八幡駅
  - ★ = 近江鉄道市辺駅
  - = J R近江八幡駅までの主な通勤・通学経路
  - = 東近江市と近江八幡市の市境

## 3. 新型コロナ対策で明らかになった通学実態

令和2年度、令和3年度

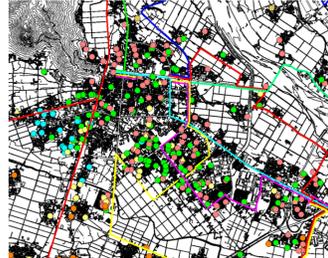
新型コロナにより近江鉄道、路線バスの利用者急減を踏まえ、通学利用者を対象に通学定期券購入支援補助を実施



申請者からのアンケート調査等を実施

⇒自転車での最寄駅までの移動が難しい地域の学生の多くは路線バス又はコミュニティバス路線近くに居住も、多くがマイカー送迎に頼っている実態が明らか…

定期券申請者居住情報と公共交通網プロット図

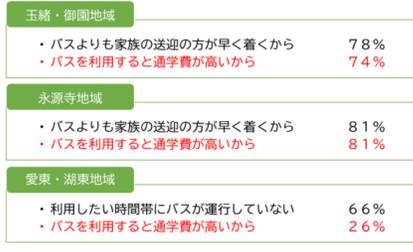


最寄駅までのマイカー送迎の状況

地域	申請者数		割合				
	マイカー送迎	割合	マイカー送迎	割合			
八日市地域	385	44	11.4%	愛東・湖東地域	114	57	50.0%
平田・市辺地域	74	19	25.7%	能登川地域	37	5	13.5%
玉緒・御園地域	96	42	43.8%	蒲生地域	158	34	21.5%
永源寺地域	50	33	66.0%	合計	958	245	25.6%
五箇荘地域	44	11	25.0%				

マイカー送迎の理由

マイカー送迎の理由は何か？



出典：東近江市地域公共交通計画

公共交通を利用した場合の通学費負担例

路線バスも通学利用すると…



1 箇月定期券を購入した場合

## 4. 家族送迎から公共交通を利用した通学促進に向けた新たな取組

令和4年度 コミュニティバスのダイヤ改正  
湖東線…近江鉄道の通学利用が最も多い

7：40台に合うダイヤを新設

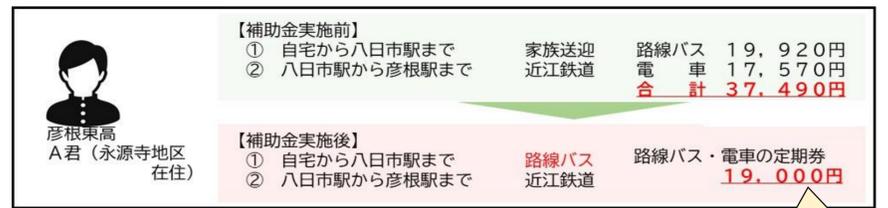
通学利用者が2.2%も増加！

年度	【増便】		合計
	6：50発 →7：30着	7：30発 →8：10着	
令和3年度		2,294	2,294
令和4年度	715	2,094	2,809

令和5年度 近江鉄道・路線バス通学利用促進補助金の実施

近江鉄道と路線バスの利用を図るため、一定金額を超えた通学費用について市が補助金を交付し、公共交通を利用した通学を支援

区分	内容
近江鉄道又は路線バス利用者	1箇月当たり 14,000円を超えた金額を補助
近江鉄道・路線バス両方利用者	1箇月当たり 19,000円を超えた金額を補助



今後の課題

負担軽減を喜ぶ声は多くあるが、家族送迎から路線バス利用への転換が思うように進んでいない…

通学費用の負担が半額に軽減！

## 6. 今後の課題

家族送迎から公共交通を利用した通学利用の更なる拡大に向けて、次のことについて特に取組をしていく必要がある。

### 1 高校進学前のモビリティ・マネジメントの推進

本市では小学校での交通環境学習の実施校数は増加しているが、高校進学を控えた中学生に向けた取組ができていない。

家族送迎が多い地区の中学校を中心に高校進学前から公共交通を利用した通学に向けたモビリティ・マネジメントを実施していく必要がある。

### 2 公共交通の担い手不足を踏まえた公共交通網の維持確保

本市で運行するバス運転手の1/4が60歳以上と高齢化が進んでおり、公共交通の担い手不足を踏まえ、10年先を見据えた公共交通網の再設計を進めていく必要がある。

参考 バスロケ導入告知チラシに掲載した公共交通利用を促すチラシを作成

ちよこつとバスでの通学は家族送迎よりもお得！？

